



OECU NEWS

Osaka
Electro-Communication
University

大阪電気通信大学 学報

2018年 5月10日発行
発行：学校法人 大阪電気通信大学
〒572-8580 寝屋川市初町18-8
TEL 072-824-1131(代)
<http://www.osakac.ac.jp>

333号

新理事長あいさつ

「人間力」と「技術力」を 備えた人材育成を

2017年度学位授与式／2018年度入学式

2017年度 「なわてん」開催！

OECU Club & Circle サッカー部／ストリート部

- NEWS & TOPICS
- 受賞報告
- 國際交流
- イベント予告





卒業生の皆さん、本日はご卒業、誠におめでとうございます。卒業生の皆さんは、これから就職あるいは大学院に進学等々それぞれ自分自身で選択した新たな道に進んでいかれます。これまで学んだ専門知識、本学で培った人間力と技術力を生かして、大いに自分の目的に向かって進んでいかれるのだと思います。多くの皆さんはこの4月から実社会に出されることになりますが、私から三つお願ひをしておきたいと思います。

一つ目は、言葉づかいです。初めて広い世間の荒波に漕ぎ出す皆さんは、これから様々な壁にぶつかり、悩むことがあるかと思います。私の長い産業界の経験から申し上げて、最初に配属される先では仕事の内容よりもむしろ人間関係にあり、その多くは言葉づかいに起因していると思います。古来より「布地は染めぐあいで、酒は香で、花は匂いで、人は言葉づかいで判断される」と言います。まずは、丁寧な言葉づかい、できれば敬語などにも気をつけてみてください。丁寧な言葉づかいをされて、怒る人はいません。言葉づかいが丁寧になると、態度も自然に丁重になります。それによって、皆さんは周囲の人々に良い印象を与え、どんな相手ともうまくコミュニケーションがとれるようになります。仕事にも良い影響がでてきます。

二つ目は、「自分にしてもいい事を他の人にに行う」という事です。仕事で成功したいと思ったら、必ず周囲の人の助けがります。どんなに優秀で、能力が高くても、自ら敵を作るように周りの人々に好感を持ってもらえる人の方が、断然成功しやすいのです。

三つ目は、「どんな仕事でも良いからその第一人者になれる」ということです。これは、かの有名なアンドリュー・カーネギーが青年のための成功の秘訣として話された言葉です。



自らの仕事に誇りをもつて
大阪電気通信大学 学長 大石 利光

カーネギーは、12歳で紡績工場の糸巻き小僧として雇われた時は「世界一の糸巻き小僧になってやる」と一所懸命働き、その仕事ぶりが認められ、「こんな子供に糸巻きをさせておくのはもったいない」と郵便配達員に雇われ、ここでも「世界一の郵便配達員になってやる」と一軒一軒家と番地を覚えまくり、ついに町中知らない家が一軒もなくなったそうです。その仕事ぶりが認められ、今度は電信技士に抜擢され、それいらい同じやり方で、どんどん成功し、あの巨万の富と地位を築いたのだそうです。

言い換れば、目標を持って、目の前にある仕事を一所懸命に勤める事で、次の道は必ず開けるということです。日本でも、阪急阪神東宝グループの創設者である小林一三氏が、「下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら、誰も君を下足番にしておかぬ」と言っています。皆さんが最初に配属される職場は自分の希望の職場とは違う、あるいは自分の思いと違うことが多々あるかと思います。「やる気が出ないなあ」「つまらないなあ」など不平や不満を言いたくならぬ仕事しか与えられないとしても、ぜひこのカーネギーの実例や下足番の話を思い出して、目の前の仕事に真剣に取り組んでいただきたいと思います。

皆さんが自らの仕事に誇りをもって、そして洋々と社会で活躍されることを期待しています。最後になりますが、本学を5万人を超える卒業生・修了生が巣立っていく、多くの方々が第一線で活躍されています。それらの先輩に続いて大阪電気通信大学の卒業生・修了生として後輩の模範となっていただきたいと思います。



2018年度入学式

期待とともに 新たな一步を踏み出す

2018年度の大学・大学院の入学式が4月3日、四條畷キャンパスのコナミホールで行なわれました。式は、①情報通信工学部・医療福祉工学部、②工学部、③総合情報学部、④大学院の4回に分けて行なわれ、4月に新設された建築学科、デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科をはじめとする学部生(編入含む)、大学院生合わせて1,490人が新たな大学生活をスタートさせました。

また、大阪電気通信大学高等学校の入学式は4月7日、体育馆で行なわれ、318人が入学しました。



告辞

夢を持ち充実の4年間を

学校法人大阪電気通信大学 理事長
大阪電気通信大学 学長

大石 利光

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大阪電気通信大学は全学を挙げて皆さんを歓迎いたします。本学は開学以来、実学教育を基本として社会で主体的に活躍できる人材の育成に努めてまいりました。そして、これまでに57年の歴史を刻み、5万人を超える卒業生を社会に送り出してきました。皆さんは今日からその大阪電気通信大学の一員として、それぞれのキャンパスで大学生活を送っていくことになります。今は新たな学びへの期待と不安に胸を膨らませていることだと思いますが、これから卒業までの4年間には今までに経験したことのないような壁にぶつかり、悩むことにならうかと思います。そんな時には一人で悩むことなく、教員や職員、先輩、家族の方々とよく相談し、その壁を乗り切り、4年後一人も漏れなく、笑顔で卒業を迎えてほしいと願っております。今日は私から皆さんに三つ、お願いをしたいと思います。

一つ目は、しっかり学んでほしいということです。ハーバード大学の図書館の張り紙として有名な言葉に、

一、今居眠りすれば、あなたは夢を見る。

今学習すれば、あなたは夢が叶う。

一、学習は時間ができないものではなく、努力を欠くからできないものである。

一、勉強に励む苦しさ今だけであり、勉強をしなかった苦しさは一生続く。

一、学習することが人生の全てとは言わないが、学習すらできぬものに何ができるのであるか。

一、一番現実的な人は、自分の未来に投資する。というものがあります。皆さんの大学の4年間の学びは、皆さんの未来への投資となります。未来のあなたたちを助けるのは、今のあなたたちです。未来の自分を救えるのは自分しかありません。ぜひしっかり大学の4年間学んでください。

二つ目は、基本マナーを磨いて身に付けてほしいということです。大学は会社で働くための予備校ではありませんが、いざ皆さんが社会に出て仕事をしようとしたときに、当たり前のビジネスマンとして必要な基本マナーやコミュニケーション能力は必要です。ぜひ、この4年間しっかり

磨きに磨いて自分のものにしてほしいと思います。そのためには、身だしなみを整える、挨拶をする、目上の人には敬語をつかう、締め切りは守る、そういう普段の生活をしっかりと見直してやっていくことで基本のマナーを磨くことができます。ぜひ、このことに気を付けて日々の生活を送っていただきたいと思います。

三つ目は、皆さんには大きな夢を持ってほしいと、私は思います。夢なんてなんの役にも立たないという方もいらっしゃいます。しかし、人は夢を持つことで力が出ます。夢を持つことで挑戦するパワーが生まれます。「夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」この吉田松陰の有名な言葉を皆さんにお贈りし、本日から大学生活、しっかりと大きな夢を持って学び、そしてマナーを身に付け、充実した楽しい4年間を過ごされることをお祈りして、本日の私の告辞とします。

(情報通信工学部・医療福祉工学部の入学式から)





なわてん 開催

2月3日(土)、4日(日)、2017年度総合情報学部卒業研究・卒業制作展「なわてん」を四條畷キャンパスで開催しました。



「なわてん」は、総合情報学部での学修の集大成である卒業研究や卒業制作の発表の場です。15回となる今年も学生たちの個性豊かな作品が勢ぞろいし、大勢の来場者で賑わいました。

4日には、メインイベントとなる「なわてんグランプリ」を開催し、出展された197作品の中から、優れた作品にグランプリはじめ各賞が授与されました。栄えあるグランプリには、吉内雄大さん(総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科※)の作品「in osaka」が選ばれました。「in osaka」は、日常的な大阪のよさ

をキャラクターを通じて表現した平面作品です。生まれてから22年間を大阪で過ごしてきた吉内さんは、ガイドブックに載っているような場所だけではなく、大阪に暮らす人々が日常的に通うような



受賞一覧

グランプリ

- 「in osaka」
吉内雄大(デジタルアート・アニメーション学科※)

準グランプリ(2作品受賞)

- 「三人称視点ARマスクスレーブ方式によるロボットアームの遠隔制御」
三谷岐生(総合情報学研究科 コンピュータサイエンス専攻)
三谷一輝(情報学科)

「卵」

- 翁 洋(デジタルアート・アニメーション学科※)

観客賞

- 「Gladiator」
芥直弘、赤井諒、川枝直輝、山下達也(デジタルアート・アニメーション学科※)

友軍会員(3作品受賞)

- 「喫煙発見センサーシステム」
長尾拓也(デジタルゲーム学科)
- 「2018年問題を想定した中堅大学の生き残り戦略」
八橋佑太(デジタルゲーム学科)
- 「鬼灯に告げるはおさきにつける」
小西雅、山下ヤンディー(デジタルゲーム学科)

後援会賞

- 「小型トロボット搭載用の2個の魚眼カメラ映像の段差提示」
助光智真(情報学科)

アコラ賞

- 「構正行物語」
小原健也(デジタルゲーム学科)

学術研究賞

- 「公衆無線LANにおいて暗号化通信を実現するWaka-VPNの開発」
若槻未緒、國本倫平(情報学科)

芸術賞

- 「伊賀組紐を用いた衣装製作」
福森満津絵(デジタルアート・アニメーション学科※)

サッカー部

Number
14



サッカー部は寝屋川キャンパスで火・木曜日の17:30~21:00(授業がない場合

10:00~13:00)に活動しています。部員25人とマネージャー4人の29人で、楽しく活動しています。

日々の練習は、主将の民安紳吾さん(医療福祉工学部健康スポーツ科学科3年生)を中心に勝てるチームを作ため、周りとのコミュニケーションを大事にし、声を出し合いパワーストライクやシュートの基礎練習を行っています。また、具体的な試合のフォーメーションや練習のメニューの組み立ては、東海大学付属仰星高校出身で全国高校選手権ベスト4の活躍をした吉田純平さん(医療福祉工学部理学療法学科2年生)が行っています。大阪府サッカー協会の社会人

サッカー連盟に所属しており、昨年は社会人リーグ3部に参加しグループリーグに出場しました。

主将の民安さんは、サッカーの魅力について「初めて会った人、コミュニケーションが苦手な人でも、ボールのパスをしていくなかで、心がつながり、すぐに打ち解けてしまうスポーツがサッカーの魅力だと思う。そして試合では、11人で守り、11人で得点を上げ、ベンチを含む18人で喜び合う瞬間は最高です」と教えてくれました。今後は、新入生を含め、練習を通して部員全員が心を通じあうこと、そして、社会人リーグ2部に昇格し、社会人選手権のグループを突破することを目標に走りぬきたいとのこと。今後のサッカー部の活躍が楽しみです。



OECU Club & Circle

大阪電気通信大学の
クラブ・サークル活動に迫る!



Number
15

ストリート部



ラップ・DJ・ダンス・BEATBOXの練習を通じてスキルアップをめざしているストリート部。現在部員は11人で、活動は金曜日の19:00から部室や食堂で行っています。学内行事の「七夕祭」「大学祭」「なわフェス」などを中心に制作活動をし、先輩や後輩が仲良く新しいことを追求し日々高められています。

部長を務める石橋純平さん(工学部電子機械工学科2年生)は、「ダンスマルチ競技を通じて、ダンサーと他のジャンルの人たちと繋がることができ、言葉がなくてもコミュニケーションがとれるおもしろさが発見できます」と教え

てくれました。

1年生からストリート部に入部した学生が半数以上ですが、ボイスパーカッションで活躍している米田大河さん(総合情報学部デジタルゲーム学科2年生)は、U-18beatboxer限定の大会で全国準優勝の実績もあり、経験者・未経験者それぞれがお互いに成長し合い団結して取り組んでいます。

今後の目標として、部員の拡大と学内行事の強化、そして、他大学との交流やつながりをますます増やしていきたいということです。



ストリート部からのメッセージ

ストリート部は、DJやダンサー・ビートボクサー等多くのパフォーマーが所属しています。入部者のうち半数近くが初心者でしたが、今では外のイベントに引っ張られるほど成長しています。何かを新たに始めたい人やお手伝いしたい人、自由な部なので一緒に一歩踏み出しましょう!



女子バスケットボール部が「電通カップ・近畿フェスティバル2017」で優勝

12月26、27日に開催された「電通カップ・近畿フェスティバル2017」で見事女子バスケットボール部が優勝をおさめました。「電通カップ・近畿フェスティバル」は、近畿地区を中心に全国より高校11チームを招待し、強化・交流および普及を目的とする親善大会です。試合方法は3チームを1つとするブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの成績から、決勝トーナメント、2位トーナメント、3位トーナメントに進出して順位を決定します。

初日のリーグ戦では、廣学館(京都)と芦屋学園(兵庫)に勝利してAブロックを1位で通過し、決勝トーナメントでは、大津商業(滋賀)に勝利して修文女子(愛知)との決勝に駒を進めました。大型選手を擁する修文女子にリードされる場面もありましたが、厳しいディフェンスからの速攻を武器に要所でシートを決め、全國を狙う強豪チームとの激戦の末、見事勝利をおさめ電通カップ優勝でシーズンを締めくくりました。

マンダム「男の就活身だしなみセミナー」を開催

2月7日、本学と株式会社マンダムは、本学の男子学生限定で、マンダムのヤング男性向けグローミングブランド「ギャツピー」が提案する「男の就活身だしなみセミナー」を開催しました。

就職支援プログラムの一環として開催された本セミナーは、就活における身だしなみについての正しい知識とケア方法を学ぶことを目的とするもので、この日は就職活動準備中の3年生や就職活動真っ最中の4年生の男子学生が多数参加しました。まず、株式会社マンダム広報部・奥田志保氏と酒井美絵子氏による講演が行われ、髪・肌・体臭といった身だしなみが自身の印象や評価に大きく影響するという調査データを基に、正しいケア方法や印象アップのコツについての説明が行われました。担当者のお二人は最後に、見た目の重要性について語り、身だしなみを絶えず意識して努力することが大切であるとアドバイスを送りました。学生たちが身だしなみの重要性に気づき、意識を改善する貴重な機会となりました。今後、より良い就職に結びつけることが期待できます。



硬式野球部のコーチに元プロ野球選手の江草仁貴氏が就任



阪神タイガースや広島東洋カープで投手として活躍した元プロ野球選手の江草仁貴(えぐわ ひろたか)氏が、3月1日、大阪電気通信大学 硬式野球部(阪神大学野球連盟2部東リーグ、部員60人、鈴木佑亮監督)のコーチに就任しました。2月8日には、大石学長、塙田大学事務局長、硬式野球部の鈴木監督、金田部長を交えて就任にあたり挨拶を行いました。

3月4日、四條畷キャンパスで練習試合に参加し、ピッチャーを中心にチーム全体を見学し指導を開始しました。



就任にあたっての江草氏のコメント

今までの経験の中で指導者の存在が大きく自分の可能性を伸ばしてもらったように、学生一人ひとりにあった指導を心がけ、全力で育成に取り組みます。目標は、一部リーグ昇格。そして全日本大学野球選手権大会への出場を学生と共にめざします。



総合情報学部デジタルゲーム学科の学生3名がデザインした「御当地ナンバープレート」が選ばれる



○50cc(白色)以下
森本さよみさん
(総合情報学部デジタルゲーム学科3年生)



●90cc(黄色)以下
伏間雄規さん
(総合情報学部デジタルゲーム学科3年生)

寝屋川市がナンバープレートを交付している125cc以下のバイクに、全国で初めて排気量別3種類の御当地デザインを導入することになり、本学の学生が考案した作品が選ばれました。このデザインは、11月6日から22日に市民税課



●125cc(ピンク色)以下
青木佑司さん
(総合情報学部デジタルゲーム学科3年生)

「2017年度リーダーズサミット」を開催



3月9日、体育会本部、文化会本部、学生課共催で「2017年度リーダーズサミット」を開催しました。

これは、体育会系・文化会系の垣根を越えて各団体の主将・部長等が集い、他の団体がどのような活動をしているのか、また、部活動

のリーダーを務めることで得られるものや、問題を解決するために組織を率いる者としての力を高める趣旨で開催しているイベントです。今回は39団体・計114人のリーダーと本部役員が参加しました。就職で役立つ力や、組織のまとめ方などについて、講義やグループ



ワークを行い、リーダー同士の触発の場として、お互いの意識を磨きあうことができました。また、2017年度に活躍した団体に対する表彰式も行われ、団体表彰21団体と個人表彰9人が伊與田学生部長より表彰状と副賞が授与されました。

最後には、顧問教員・指導者と学生が懇親会に参加し、よい交流の機会となりました。この日の学びや交流をきっかけに成長したリーダーたちの今後の活躍が期待されます。

産官学連携で学生たちが楠正行の絵本を作成し四條畷市に贈呈



3月19日、四條畷キャンパスのコナミホールで、四條畷市・産経新聞社主催「楠正行シンポジウム『楠正行考』小楠公と四條畷市～正行公の生き方と魅力」が開催されました。

本イベントでは、総合情報学部デジタルゲーム学科の社会プロジェクト実習の1つ「武将楠正行絵本制作プロジェクト」で、10月に完成させた絵本に関する発表と朗読、贈呈式を行いました。「武将楠正行絵本制作プロジェクト」は、楠正行の伝承活動に取り組む「四條畷楠正行の会」との制作プロジェクトで、木子香講師(現准教授)の指導のもと、19人の学生が昨年4月より講義や学外での実習を通して絵本制作を行いました。

今後、四條畷市内の図書館に配架される予定です。また、四條畷楠正行の会代表の肩谷昭氏より、本学の2018年度の社会プロジェクト実習として「楠正行カルタ」の制作が決まったことが発表されました。今後の学生たちの活躍にご期待ください。



茨城県教育委員会と本学とのプログラミング教育に係る連携協力に関する基本協定調印式

3月29日、茨城県庁舎において、茨城県教育委員会と本学とのプログラミング教育に係る連携に関する覚書を締結しました。

柴原宏一茨城県教育委員会教育長は、「情報の専門家は多数存在しますが、初等中等教育におけるプログラミングの専門家がない現状があります。初等中等教育のプログラミングに関する専門家がいる大阪電気通信大学と連携協定を締結することで組織的なサポートが得られます。プログラミングは、考える楽しさを教える「教材」であり、子どもたちの思考力の養成にはプログラミング教育が有効です」と挨拶されました。

つづいて、大石利光理事長・学長は「本学は関西の工学系の私立大学として、57年の歴史があり『実学教育』で『人間力』と『技術力』を育み、自ら人生を切り拓き、社会で主体的に活躍できる人材を育成する事を教育の柱にしています。プログラミング学習用の教育環境として開発した『ドリル』が、累計10万回以上ダウンロードされ、多くの教育現場で活用されています。この中心的

な役割を担っている本学の兼宗教授は、中央教育審議会の情報ワーキンググループ等の国の委員を歴任し、コンピュータを使わずに情報科学を教える手法「コンピュータサイエンスアンド

ド」を日本で初めて紹介し、体験型イベント等において参加者から好評をいただいています。本学で培ってきた事がお役にたてることを嬉しく思います」と挨拶しました。



「大阪電気通信大学GAMEフェスタ IN UMEDA」を開催



3月30日、総合情報学部デジタルゲーム学科・ゲーム＆メディア学科、VisLab OSAKAによるイベント「大阪電気通信大学 GAMEフェスタ IN UMEDA」をグランフロント大阪で開催しました。

新設された両学科を実体験していただくことをコンセプトに、高校生や家族連れの方々など150人を超える来場者の皆様に体験していただきました。

GAMEフェスタでは、The Labやアクティブスタジオで「King of Money」など学生制作のVRゲーム、タブレットゲームなどの試遊のコーナーや、バンドネオン奏者・仁詩氏によるゲーム音楽の演奏、学生6人が対決したe-sports大会などで、終日大変賑わいました。

100円朝食「三文の徳食堂」が開店

100円で朝食が食べられる「三文の徳食堂」が今年度も開店しました。主菜ワンプレート、ライス、汁物がセットになったボリューム満点の朝食をワンコインで食べることができます。この「三文の徳食堂」は後援会（保護者の会）の協力により2014年度から始まり、毎年多くの学生が利用しています。

前期は4月9日から7月27日まで、後期は9月17日から1月21日まで実施予定です。



- 寝屋川キャンパス1号館1階食堂 AM8:30～10:00
- 四條畷キャンパス6号館1階食堂 AM9:00～10:00

建築学科1期生が入学

2018年4月に開設された建築学科へ、94人の1期生が入学しました。

4月4日のオリエンテーションでは、履修登録に向けて、「授業の履修」や「一级建築士など資格取得」の説明があり、グループ担任ごとに各教員の研究室やアトリエ（多目的製図室）などの施設の見学も行い、建築学科で学ぶ準備を着々と進めています。

また5月には、新入生学外教育研修で「博物館明治村」（愛知県犬山市）に行き、建築物の平面および空間構成手法とその特徴について学びながら懇親を深める予定です。



**理学療法士国家試験で88% 全国平均を上回る
臨床工学技士国家試験で90% 合格率を達成！**

2月に実施された2017年度理学療法士国家試験において、医療福祉工学部理学療法学科の学生42人が受験し37人が合格。88.1%の合格率で全国平均81.4%を上回る結果となりました。

また、3月に実施された臨床工学技士国家試験では、医療福祉工学部医療福祉工学科の学生32人が受験し、29人が合格。90.6%の合格率でこちらも全国平均73.7%を大きく上回る結果となりました。

両学科ともに、国家試験を意識した段階的な学修や、分野別の対策講座、資格学習用のe-learning教材などが充実しており、毎年高い合格率を維持しています。

- 理学療法士…運動療法、水治療法、日常生活動作訓練等の理学療法を駆使して、身体機能の回復を図るリハビリテーションを行うことのできる資格を有する者です。理学療法士になるには、理学療法士の養成校を卒業し、理学療法士国家試験に合格する必要があります。
- 臨床工学技士…医師・看護師と連携し、病院内の人工透析室（血液浄化業務）、手術室（人工心肺装置の操作、心血管カテーテル業務）、集中治療室（呼吸治療業務など）、MEセンター（医療機器の安全管理・指導業務）で医療業務に従事します。近年の医療機器の自覚正しい進歩に伴い、医学的、工学的な知識が必要とする専門技術者として医療の重要な一翼を担う医療系国家資格です。

大阪電気通信大学の
国際交流

UBC海外教育研修in カナダ

カナダ（バンクーバー）にて海外教育研修が実施され、参加した24人の学生が2月24日から3月25日までの約1ヶ月間、ホームステイをしながらブリティッシュコロンビア大学（UBC）で語学研修を受講しました。ホームステイや現地での生活ではコミュニケーション面で苦労もあったようですが、活きた英語を学ぶことができました。

また週末には市内散策やショッピング、スキーなども楽しみました。今回参加した学生にとってカナダの多様な文化や価値観についての理解を深め、非常に有意義な研修となりました。



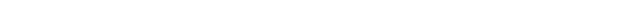
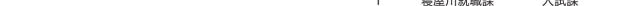
人事異動

学校法人役員(4月1日現在)

理事長 大石利光(大学長)
 理 事 廣谷 明(高校校長)
 寺西正光(法人事務局長)
 塩田邦成(大学事務局長)
 榎本博行(工学部長)
 魚井宏高(総合情報学部長)
 岡本清孝(大阪電気通信大学電気会員副会長)
 千松哲也(総務部長・経営企画室長・広報部長)
 藤田宏道(元大阪電気通信大学後援会会長)
 森 幸治(副学長)
 加藤好文(京阪ホールディングス代表取締役社長CEO)
 (兼COO執行役員社長)
 河崎忠弘(元日立自動車販売専務理事)
 北田由博(北田工業所代表)
 成瀬 淳(元日立グローバル・ストレージ)
 (テクノロジズ社長・CEO)
 山口重之(元京都工芸繊維大学副学長、名誉教授)
 木村安壽(木村公認会計士事務所所長)
 松宮 徹(元新日本製鐵フロー)

監 事

新任教職員(4月1日付)



異動(4月1日付)

役職教員

大学院工学研究科長	小宮山彰
大学院総合情報学研究科長	上善恒雄
医療福祉工学部長	新川拓也
金融経済学部長	袖山則宏
共通教育機構長	佐野正彦
学生部長	伊與田功
スポーツ強化センター長	金田啓稔
教務部長	森 幸治
図書館長	松浦秀治
国際交流センター長	藤田高弘
総合学生支援センター長	伊與田功
情報学研究所長	来海 晓
先端マルチメディア合同研究所長	寺山直哉
実験センター長	富岡明宏
3D造形先端加工センター長	入部正継
研究連携推進センター長	上善恒雄
地域連携推進センター長	中田亮生

教員昇任

機械工学科教授	阿南景子
基礎理工学科教授	中村拓司
環境科学科教授	湯口宣明
数理科学教育研究センター教授	中村敏浩
数理科学教育研究センター教授	溝井 浩
電子機械工学科准教授	疋田真一
情報工学科准教授	早坂 昇
ゲーム＆メディア学科准教授	木子 香

職員

内部監査室長	大石利光
内部監査室参考	池宮達康

法人事務局総務部秘書課長兼務を解く
 (法人事務局総務部次長)

渡邊豊一

エレクトロニクス基礎研究所事務室長
 兼 メカトロニクス基礎研究所事務室長兼務を解く
 (大学事務局長)

塩田邦成

教務部教務課長兼務を解く
 (教務部次長兼教育開発推進室長)

吉川 茂

入試部入試課長兼務を解く(入試部次長)

鈴木佑亮

情報学研究所事務室長兼務を解く(メディアコミュニケーションセンター事務室長(課長待遇))

岩村真吾



高等学校校長に廣谷氏が就任

4月1日付で大阪電気通信大学高等学校校長に廣谷明氏が就任しました。

廣谷 明(ひろたに・あきら) プロフィール

1951年滋賀県生まれ 67歳
 1976年3月 大阪電気通信大学工学部通信工学科卒業

2008年4月 滋賀県立八幡工業高校校長

2009年4月 滋賀県立彦根工業高校校長

2015年3月 学校法人大阪電気通信大学理事

本校は、普通科・電子工学科を設置し、それぞれの科には「進学コース」「健康スポーツコース」「理数コース」「電子総合コース」を設けています。さらに電子総合コースでは2年生になると全国的に珍しく専門性の高い「電子情報コース」「医療電子コース」「デジタルゲーム開発コース」に分かれなど、生徒の興味・関心に合わせた教育課程を編成しております。それらの成果は卒業生の進路状況などにも着実に現れており、4年制大学への進学率は約

70%に達しています。

また本校を設置する学校法人は、大阪電気通信大学を併設しており、当該大学とは今日まで強い連携を図ながらICTを強みに最先端のテクノロジーに対応できる人材育成に努めています。生徒一人ひとりが本校の教育を通して、「学びに向かう力」や他者との共同・協調性を高め、さらにはたくましく生きるための「人間力を」高め、「知・徳・体」のバランスのとれた生き方に確立させていきます。



就任のあいさつ

●2017年度退職者送別会を開催

大阪電気通信大学の2017年度退職者送別会が3月16日、ホテルニューオータニ大阪で開催されました。

[退職者](敬称略、50音順)

- 出席 梅尾博司(情報工学科)、岸岡清(電子機械工学科)、坂井清泰(人間科学研究センター)、高橋保則(人間科学研究センター)、西村純一(基礎理工学科)、村上泰司(通信工学科)、門田直之(数理科学研究センター)
- 欠席 荒瀬司(就職部寝屋川就職課)、池内博一(資産運用学科)、勝田佳裕(資産運用学科)、薦田誠(実験サポート課)、坂田定久(数理科学研究センター)、篠藤敦子(資産運用学科)、中井正彦(資産運用学科)、平野弘樹(広報部広報課)、廣下宏治(健康スポーツ学科)、増田浩志(実験サポート課)

2017年度 大阪電気通信大学 退職者送別会



Event Notice イベント予告

オープンキャンパス開催!!

下記の日程で
開催します

会 場	寝屋川キャンパス・四條畷キャンパス
開催日	6月17日(日) 13:00~16:30(12:30開場)
	7月22日(日) 12:30~16:30(12:00開場)
	8月25日(土) 12:30~16:30(12:00開場)

6月 授業体験型オープンキャンパス

1つの学科をじっくり体験し、深く理解できる
体験型プログラムです。

プログラム一例

- 「電子工作に挑戦」ライトトレースカーを製作しよう！
- 「めざせ臨床工学技士！」医療・健康分野で活躍できるエンジニアの仕事について聞いてみよう！
- 「ゲーム」がキーワード！「デジタルゲーム学科」でできること、「ゲーム＆メディア学科」でできること
- ICTや最先端技術に強い一級・二級建築士へ



7月・8月 自由参加型オープンキャンパス

約100種のプログラムから自由に選んで参加することで、学問の広がりとつながりが見えてきます。

プログラム一例

- ドローンを飛ばしてみよう！
- スマホアプリを作成してみよう
- VR(仮想現実)やAR(拡張現実)システムで遊んでみよう
- 卒業生に聞いてみよう！理学療法士になってみて



※プログラムは予定であり変更の可能性があります

寄附者芳名録

寄附金募集に対し、多数の方々よりお申込みをいただき、心より御礼申し上げます。

ご寄附をお申込みいただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名一覧

- ・2017年12月1日から2018年3月31日までにご寄附のお申込みをいただいた方(個人)を掲載しております。
- ・お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

青沼 秀児	茨木 陽光	榎本 博行	河合 利幸	坂田 定久	多米田裕一郎	羽藤 大資	升谷 保博	吉田 晴行
赤滝 久美	伊興田 功	王 少鋒	川口 雅之	佐藤 礼華	月間 満	早坂 昇	萬代 武史	吉村 猛
阿久津典子	伊興田サカエ	大石 利光	神崎 和男	佐野 正彦	辻本 敏行	林内 賀洋	溝井 浩	渡邊 堅一
浅倉 史興	伊興田朋未	太田 航平	木子 香	塩田 邦成	中田 亮生	早野 秀樹	光本 浩士	渡部 隆志
東 尚子	伊興田裕子	大西 克彦	岸岡 清	柴垣 佳明	中根 康之	原田 融	村上 豊裕	渡邊 俊彦
阿部 昇	上垣 公明	大平 正敏	木原 満	下野 哲生	中野 正三	東 由紀	村上 博彦	
池田 裕喜	上嶋 章宏	小笠 俊博	来海 晓	上善 恒雄	新川 拓也	日坂 真樹	村上 恭通	
石井 一也	上田 和浩	何 一偉	木村 和広	鈴木 佑亮	新閑 雅俊	ヒルドミヒヤエル	村木 有也	
石本 一平	植野 雅之	甲斐嶋政徳	黒川 和也	高見 友幸	西 省吾	廣瀬 俊彦	元永 修平	
市谷 浩一郎	宇田 豊	加藤 常員	小池 達男	竹内 和広	西木 育	福原 雄	森 幸治	
伊藤 義道	宇野 博	門林理恵子	米田 祥馬	田代 徹也	沼田 哲史	福山 雄二	安江 常夫	
射場 富三男	江川 久美子	金村 仁	小森 政嗣	多田見寧子	登尾 啓史	藤田 高弘	山崎 裕加	
猪原 正守	越後 富夫	上川 直紀	小柳 磨毅	田中 孝徳	羽崎 完	前川 泰之	山下 文裕	(五十音順、敬称略)

寄附金に関する お問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室 担当：石本
TEL : 072-824-1131(代) FAX : 072-824-1141
E-mail : bokin@osakac.ac.jp

合計 ￥11,142,907

(2013年2月から2018年3月31日まで)